

法親寺新聞



2022年 秋彼岸号
手書き新聞 No. 50

No. 50まで続けることができました。読んでくださる皆様のおかげです。



読書ね...マヌネ...

こんにちは。釋 紗音です。
「ご冥福をお祈りします」という言葉を聞く悲しい出来事が絶えない世の中です。「ご冥福をお祈りします」とは「冥土(暗い迷いの世界)での幸せをお祈りします」という意味ですが、言葉だけが一人歩きし、必要のない時でも沢山の人の使われています。言うまでもなく浄土真宗は「往生即成仏」ですから、冥土には行きません。その時点で、浄土真宗の方が亡くなった時、この言葉を使うのは不自然なのです。特に今は、SNSやテレビ、インターネットなどで一気に拡散される時代ですし、疑いもせずそのまま自分の言葉として発している人は多いと思います。
有名人が発した言葉などは、正解かのように当たり前で沢山の人の使われていますが、実際どれくらいの人が意味を理解して使っているのでしょうか。
このように人間は、意味も良く知らない言葉は簡単に使えるのに、自分の認識できないもの(目に見えないものや少数派なこと)は疑う傾向にあるのが、不思議な部分です。言葉は自分の気持ちや感情を表す為にも使われますが、目に見えるものはかりではありません。例えば「楽しい」という感情を表す言葉でも、実際に楽しいかどうかは目に見えず、本人にしか分かりません。
楽しいと思っていなくても「楽しい」、美味しいと思っていなくても「美味しい」と、相手に気を遣って云えた経験は皆様あるのでは無いでしょうか。
人間が目に見えない言葉や感情、存在を疑わずに信じる条件は「世の中で当たり前に使われている」「子供の口から聞いてきた」「信用している人に言われた」など、いくつもあります。
「死んだら天国に行く」「死んだらお星さまになる」「悪いことをしたら鬼が来る」など、子供の口から親や祖父母に言われた言葉は、大人になるまでどこか心に残っていて、目には見えなくても、疑うことなく信じていましたよね。
こうして考えてみると、「有る」「無い」「信じる」「信じない」などの概念は、自分のフィルターを通して判断していて、不確かで個人差があるものだということが分かります。
しかし、私たちは目には見えなくても、確かに存在しているものに囲まれて日々を生きています。気持ち(好き、嫌いなど)、感情(愛、喜び、楽しみ、悲しみ、憎しみ、苦しみなど)、重力、季節。
現代は科学の進歩が証明してくれることもあると思いますが、遙か昔から変わらずに存在しているものは沢山あります。
電波も電話やインターネットが繋がることで存在を証明していますが、目で見ることが出来ません。
想いを秘めているだけでは、相手に分かってもらうことは難しいですが、「言葉や文で伝える」という手段があるから、認識してもらうことができます。
阿弥陀様のお慈悲も目に見えてはいませんが、「南無阿弥陀仏」を受けとることで、確かに届いていることを感じることができます。
「浄土は見えないけれど本当にあるのか?」「亡くなった人は本当に仏様になっているのか?」「阿弥陀様は本当にいるのか?」と不安になることもあると思いますが、疑う心を捨て、耳を傾け、受け入れてみてください。新しい発見や、仏法を聞く楽しみが増えると思いますよ。

住職の法話

大いなるものに導かれていることを感じている人の人生は安心と幸せに満ちています。大いなるものとは、ある人にはお天道、ある人には神様、そして私たちにあっては阿弥陀様に他ありません。だから、お念仏に生きる人の人生は喜びと幸せに満ちているのです。
親鸞聖人「正像末和讃(しょうまつわさん)」に次のお言葉があります。
如来の作願(さかん)をたづぬれば 苦悩の有情(ういゆう)をすてすして
回向(えこう)を首(しゆ)としたまいて 大悲心(だいひん)をば成就(じゆじゆ)せり
如来とは阿弥陀如来のことです。阿弥陀如来がなせ願いをたてられたのかと言うと、「苦悩の中にある有情(私)を救うためであった」という意味です。阿弥陀様は苦悩の中にある私たちを捨てるのが出来ない私たちを必ず仏にする願いをたてられ、仏様になりました。
苦悩とは苦しみ悩むと書きますが、よく似た言葉に苦勞という言葉があります。しかし、その二つの言葉は意味に違いがあり、苦勞は人間の力で解決できるもの、苦悩は人間の力では解決できないものです。「今の生活があるのは、若い時の苦勞があったからだ」は、苦勞を乗り越えたことを意味します。それに対し、苦悩は命の問題で人間の力では乗り越えられないことです。老、病、死、これらの苦しみを乗り越えることは、たやすいことではありません。すなわち、苦悩は究極の苦しみであり、私たちを不安と恐怖におとしいれます。
そんな苦悩をわかっている私を「なんと救いたい」と仏様は誓いをたてられ、その誓いが成就され、南無阿弥陀仏のお念仏となり私に届いています。苦悩を抱えている私たちを決して見捨てないぞと誓ってくださったのが阿弥陀様という仏様です。
阿弥陀様の大悲心により、私の人生が苦悩の中にあつながら、安らぎと喜びの人生に変わります。お念仏させていただきます。



紗音
2022年
瀬戸内国際芸術祭
に行く!!
宇野

- Un04 宇野のチヌ
宇野のシンボル♡
近く見てね♪
- Un10 実話に基づく
元三宅病院。
なつかしいと思ふ方は是非!!
- Un11 時間屋
時間を忘れる空間。
塩って神秘的~。
- Un12 赤い家は通信を
未だ
行ってみて!! 不思議。

こんにちは。
今回は、ちょっと真面目な釋里蓮です。SDGs...様々な所で目にした、聞いたことのある言葉です。それで、企業や会社がすることなんでしょうか? いえいえ、それだけじゃないんです。私達が、美味しく・楽しく取り組めることもあるんです♡

釋里蓮のコレがオススメ



世界共通で、貧困・ジェンダー平等・環境問題についてなど、大きく分けて17の目標を掲げ、目標達成の為に多くの企業などが取り組みを行っています。
今回はSDGs<12>の「つくる責任 つかう責任」に分類される、食品ロスについて、一般家庭でもできる取り組みをご紹介します☆
日々の生活の中で、実感することはあまりないかもしれませんが、日本の食品ロス問題はとても深刻です。
外食産業なども含まれますが、1人あたり、お茶碗1杯程の食品が毎日捨てられているそうです。その中には、賞味期限切れの商品の廃棄も含まれます。お店では、賞味期限切れ間近の商品を値下げしたり、ポイント給付するなどの対策をしています。
家庭でも、そのような商品を購入するなど、協力できることが多くあります(๑)。
岡山県内には、賞味期限切れの物や、間近の物を販売するお店が増えてきているのをご存知ですか? (๑)。
私は、岡山市北区にあります。エコートに行ってきました♪



7月10日(日)午後1時
盆法座



店内には、サプリメント・飲料・食品などが沢山並んでいました。生ものはありませんが、お菓子やジュースもあり、安く購入することができます。まだまだ美味いいただける商品なのに、捨てちゃうのは勿体無い。私は、酵素サプリ・お酢のドリンク・韓国産のサボテンのピルを買いました(๑)。
エコート以外にも、食品ロス問題に取り組むお店があるので、是非、調べて足も運んでみてはいいかなと思います(๑) ◎岡山市北区谷石成2-116-6 火曜定休日

たった1人の行動も、皆がすれば大きな力となり、1つの問題に取り組むことが他の問題の解決にも繋がります。
お財布に優しく、SDGsの取り組みもできる、一石二鳥なご紹介でした(๑)。
ちなみに... 勿体無いという言葉は、「勿体」(物体)という仏教用語が語源で、物事の本質という意味だそうです。それに無いからといって、本当の価値が損なわれてしまう。と借し言葉で使われるようになったそうです。

